教科名	地理歴史	科目名	世界史A	単位数	2単位
学年	第2学年		男子　3名　女子　4名　計　7名		
教科担任氏名	村　山　貴　彦		使用教科書	帝国書院　明解　世界史A	
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

評価の観点	趣　旨	配　分
関心・意欲・態度	世界の歴史に触れて、特色や地域の課題に対する関心を高め、意欲的に追求しているか。	２５％
思考・判断・表現	資料等から考察し、判断した過程や結果を適切に表現できるか。	２５％
技　能	年表・資料から、適切に活用する技能を身に付けているか。	２０％
知識・理解	特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身に付けているか。	３０％

月	時間数	学　習　内　容	関・意・態	思判表	技	知・理	評価方法
4月	5ｈ	人類の始まり					
		1　地球上に現れた人類と文明	○			○	態：ノート
		1節　東アジアの文明					表：発　表
		1　中国に生まれる統一国家	○		○	○	技：資料活用
		2　草原をかける遊牧民族	○	○		○	知：週末課題
		3　東アジアの国際的な大王朝	○				
		4　諸民族によって統治された時代	○	○		○	
5月	8ｈ	2節　南アジアの文明	○	○		○	
		3節　東南アジアの文明	○		○	○	
		4節　西アジア・北アフリカの文明	○		○	○	態：ノート
							表：発　表
		1　オリエントの古代文明	○	○		○	技：資料活用
		2　イスラームの誕生と広がり	○		○	○	知：週末課題
		3　イスラームの拡大と分類	○	○		○	
		5節　ヨーロッパの文明					
		1　ヨーロッパ文明の源流	○	○		○	
		2　キリスト教と東西に分かれるヨーロッパ	○			○	
		3　教皇の強大な権力と十字軍遠征	○	○		○	

6月	7ｈ	4　ヨーロッパにおけるまちとくにの発達	○			○	
		6節　南北アメリカの文明	○	○		○	態：ノート
		7節　ユーラシアの交流圏	○		○		表：発　表
		第2章　一体化に向かう世界					技：資料活用
		1節　繁栄するアジア					理：定期考査
		1　モンゴル帝国のあとにおこった諸大国	○		○	○	
		2　イスラーム諸王朝の繁栄	○	○		○	
		3　明の繁栄	○	○		○	
		4　清の繁栄	○	○		○	
7月	6ｈ	5　交易で結びつく東アジア諸国	○	○		○	
		2節　大航海時代と新たな国家の形成					態：ノート
		1　ヨーロッパで花咲く個性と自由	○	○		○	表：発　表
							技：資料活用
		2　大航海時代の始まり	○		○	○	知：週末課題
		3　ヨーロッパの新しい国際関係	○			○	
		4　イギリスの革命とフランス絶対王政	○			○	
		5　中央・東ヨーロッパ諸国の改革とロシアの拡大	○		○	○	
8月	3ｈ	6　アジア・アフリカに進出するヨーロッパ	○		○	○	
							態：ノート
		1節　ヨーロッパとアメリカの諸革命					表：発　表
							技：資料活用
		1　イギリスから独立するアメリカ	○	○		○	知：週末課題
		2　ヨーロッパ近代化の出発点フランス革命	○	○		○	
9月	7ｈ	3　ナポレオン支配からウィーン体制	○		○	○	
							態：ノート
		4　フランス革命と社会生活	○	○		○	表：発　表
		5　大西洋を越えて広がる革命	○		○	○	技：資料活用
		6　産業革命	○	○		○	知：週末課題
		7　資本主義の発展と社会主義	○	○		○	理：定期考査
		2節自由主義・ナショナリズム					
		1　1848年　19世紀の転換点	○			○	
		2　世界の工場イギリス	○		○	○	
10月	7ｈ	3　フランス第二帝政とイタリア・ドイツの統一	○	○		○	
							態：ノート
		4　ロシアの改革と東方問題	○		○	○	表：発　表
		5　南北戦争と戦後の発展	○			○	技：資料活用

		6　科学の世紀	○	○		○	知：ノート内容確認
		3節　アジア諸国の同様					
		1　オスマン帝国の弱体化	○		○	○	
		2　侵略に抵抗するイスラーム	○		○	○	
		3　ムガール帝国の崩壊とインド大反乱	○	○		○	
11月	7ｈ	4　東南アジアの植民地化	○		○	○	態：ノート
		4節　東アジアの大変動					表：発　表
		1　中国と日本の開国	○	○		○	技：資料活用
		2　アジアにおける工業化と日清戦争	○	○		○	理：定期考査
		3　東アジアをめぐる国際関係	○		○	○	
		4　孫文が導いた辛亥革命	○	○		○	
12月	6ｈ	1章　現代社会の芽生えと世界大戦					態：ノート
		1　大衆社会の出現	○	○		○	表：発　表
		2　世界の分割を進めた帝国主義	○		○	○	技：資料活用
		3　世界の一体化と人口移動	○		○	○	知：週末課題
		4　ウィルソンとヴェルサイユ体制	○	○		○	
		5　第一次世界大戦後の列強	○		○	○	
1月	5ｈ	3節　民族自決を求めて					
		1　中東・インドの民族運動	○	○		○	態：ノート
		2　東アジアの民族運動	○	○		○	表：発　表
		4節　経済危機から第二次世界大戦へ					技：資料活用
							知：週末課題
		1　世界恐慌とローズヴェルト	○	○		○	
		2　ファシズムの台頭	○	○		○	
		3　経済不況から日中戦争へ	○		○	○	
2月	4ｈ	4　ヒトラーの要求と第二次世界大戦	○		○	○	態：ノート
		5　被害の拡大と戦争の終わり	○	○		○	表：発　表
		第2章　冷戦から地球社会へ					技：資料活用
							理：定期考査
		第1節　冷たい戦争の時代					
		1　新たな対立と強調の模索	○	○		○	
		2　対立する二つの陣営	○		○	○	
3月	5ｈ	3　アジア独立と経済発展への道	○		○	○	態：ノート
		4　第三勢力の形成と南北問題	○		○	○	表：発　表
		5　中東戦争とイスラーム復興	○		○	○	技：資料活用
		6　アメリカ・ソ連の緊張と緩和	○	○		○	理：小テスト
		第2節　冷戦終結への道のり	○	○		○	